

## 第3次伊勢原市男女共同参画プランの概要

### 1 計画の法的位置づけ

- (1) 男女共同参画社会基本法第14条第3項に基づく「男女共同参画社会の形成の促進に関する施策についての基本的な計画」
- (2) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律に基づく「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護のための施策の実施に関する基本的な計画」
- (3) 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく「女性の職業生活における活躍の推進に関する施策についての計画」

### 2 策定の考え方

新型コロナウイルス感染症の拡大により大きく変化を遂げつつある社会環境や、見直しの行われた国の「第5次男女共同参画基本計画」や重点的に取り組むべき事項として定められた「女性活躍・男女共同参画の重点方針」、令和4年度に見直しが行われる県の男女共同参画推進プランに対応し、連携がとれる計画づくりを進めた。

また、持続可能な開発目標（SDGs）におけるジェンダー平等の実現とジェンダーの視点を確保し施策に反映させた計画づくりを進めた。

### 3 計画の策定方法

学識経験者、男女共同参画の関連団体、公募市民からなる伊勢原市男女共同参画プラン策定委員会が、計画案を策定し、庁内組織の伊勢原市男女共同参画推進会議やパブリックコメント等による検討を経て策定した。

### 4 計画期間

令和5年度から令和9年度までの5年間。

### 5 計画の進行管理

毎年度における施策・事業の進捗状況をとりとまとめ、市内の公共団体等代表者、公募市民からなる男女共同参画推進委員会による点検・評価や男女共同参画推進会議（庁内組織）が施策・事業の見直し等を行うPDCAサイクルに基づく進行管理を実施し、結果を公表する。

◆ 体系

目標	基本方針	施策の方向
誰も男女がいきいきと暮らせる社会を目指し、	Ⅰ. 男女共同参画社会の実現に向け一歩踏み込んだ基盤づくり	<b>1 男女共同参画の理解の促進</b> 男女共同参画の実現に向けた啓発と情報提供の充実 様々な学習機会を通じた男女の意識改革、理解の促進
	Ⅱ. いきいきと男女がともに活躍できる環境づくり	<b>2 あらゆる分野における女性の参画・活躍の推進</b> 女性が様々な分野へ参画しやすい風土作り 女性が暮らしやすく、暮らし続けられる環境づくり
	Ⅲ. ワーク・ライフ・バランスを考えた仕事・家庭・地域活動の充実 推進	<b>3 男女が働きやすいワークスタイルの創造</b> 雇用等における男女の均等な機会・待遇の確保とワーク・ライフ・バランスの実現
	Ⅳ. 安全・安心で健康に暮らせる社会、暮らしの実現	<b>4 家事・育児・介護を男女で共に担う環境の充実</b> 家庭・地域における男女共同参画活動の推進
	Ⅴ. 男女の区別なくあらゆる人権の尊重	<b>5 心身の健康支援と男女の性差に関する理解の促進</b> 性差理解の推進と、生涯を通じた心身の健康支援
		<b>6 あらゆる暴力の根絶</b> 性的搾取を含め、あらゆる暴力の根絶に向けた支援
		<b>7 困難を抱えた人に対する支援</b> 生活上様々な困難を抱える人への対応と多様性を尊重する環境の整備

◆ 目標値

番号	目標の項目	現状値	目標値
施策の方向1 男女共同参画の理解の促進			
1-(1)	いせはら男女共同参画フォーラムの参加者数・参加者の意識変化 ①いせはら男女共同参画フォーラムの参加者数 ②アンケート結果「気持ちに変化があり、行動しようと思った」の回答	① 300人（2018年度実績）	① 350人
		② 80%（2018年度実績）	② 85.0%
1-(2)	男女共同参画に関する調査・研究体制の構築	-	2024年度 体制構築 2025年度～ 運用
施策の方向2 あらゆる分野における女性の参画・活躍の推進			
2-(1)	各種審議会等の女性委員の割合 ①法律や条例に基づく附属機関の委員等と要綱に基づく委員等の集計 ②法律や条例に基づく附属機関の委員等の集計	① 39.6%（2022年4月1日時点）	①②ともに 40%以上60%以下
		② 33.3%（2022年4月1日時点）	
2-(2)	PTA、自治会の会長及び消防団員に占める女性の割合 ①PTA会長 ②自治会長 ③消防団員	① 21.4%（2022年4月1日時点）	① 28.0%
		② 9.9%（2022年4月1日時点）	② 13.0%
		③ 5.7%（2022年4月1日時点）	③ 5.7%
施策の方向3 男女が働きやすいワークスタイルの創造			
3-(1)	就労環境に関する各種認定等取得事業所数	2社（2022年4月1日時点）	5社
3-(2)	保育所待機児童数	31人（2022年4月1日時点）	0人
施策の方向4 家事・育児・介護を男女で共に担う環境の充実			
4-(1)	男性の家事参加促進講座参加者数	64人（2021年度実績）	340人
4-(2)	家族介護者教室参加者数	57人（2021年度実績）	2023年度 135人 2024年度～ 高齢者保健福祉計画の目標を踏まえて設定
施策の方向5 心身の健康支援と男女の性差に関する理解の促進			
5-(1)	性別特有の疾病としての子宮がん・前立腺がんの検診受診率の割合 ①子宮がん ②前立腺がん	① 9.5%（2021年度実績）	① 14.0%
		② 29.3%（2021年度実績）	② 30.0%
5-(2)	こころサポーター養成者数	-	1,250人（累計）
施策の方向6 あらゆる暴力の根絶			
6-(1)	暴力防止に関する意識啓発活動	2回/年（2021年度実績）	2回/年
施策の方向7 困難を抱えた人に対する支援			
7-(1)	性の多様性に関する意識啓発活動	2回/年（2021年度実績）	2回/年
7-(2)	生活困窮状態が改善した件数	-	25件（累計）